

令和2年度 歯と口腔の健康づくりの取り組み（令和3年3月末現在）

八千代市では「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」を平成24年6月に制定し、生涯にわたる市民の健康の保持増進のために、次の3つの歯と口腔の健康づくりに関する取り組みを推進しています。



1. 歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発

歯科健康診査・歯科保健指導・歯科健康教育等における情報提供

むし歯予防のための歯みがき剤の使用や、歯周病予防などの情報提供を実施しました。（表1）

表1 歯科健康診査・歯科健康教育等の実績

令和3年3月末現在

時期	種類*	事業名	情報提供の内容	実施回数	参加者数
妊娠期	①	妊婦歯科健康診査	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	336人
幼児期	①	1歳6か月児歯科健康診査（集団）	歯みがき・おやつの摂り方・フッ素活用他	22回	887人
		1歳6か月児歯科健康診査（個別）	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	301人
		3歳児歯科健康診査	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	1,072人
		児童発達支援センター歯科健診	健診結果に基づく歯科保健指導	2回	36人
	②	まちづくりふれあい講座	歯みがき・おやつの摂り方・フッ素活用他	1回	17人
妊娠期 ～ 学童期	③	歯科相談（電話・来所・家庭訪問）	歯と口腔の状態に応じたお手入れ方法他	127回	127回
成人期・高	①	成人歯科健康診査健診【40歳以上】	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	1,907人
	②	歯科衛生士による健康教育【まちづくりふれあい講座含む】	歯周病予防方法・舌やだ液が出やすくなる体操他	5回	33人
	③	歯科相談（電話・来所・家庭訪問）	歯と口腔の状態に応じたお手入れ方法他	16回	16人

※種類（事業内容別） ①歯科健康診査 ②歯科健康教育 ③歯科健康相談

☆印は、個別歯科健康診査のため、委託歯科医療機関にて実施。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に即した取り組みについて

<母子保健課>

- ・妊娠期や乳幼児期、学童期の歯科健康教育は中止としましたが、妊娠期教室で行っている講話の資料を市公式ホームページに掲載する等の代替措置を行っています。
- ・歯科健康診査については、緊急事態宣言発令中の令和2年4月から5月の間、妊婦及び3歳児歯科健診は自粛としていました。
- ・集団歯科健診は令和2年3月から6月まで中止とし、7月より法定健診である1歳6か月児歯科健診は感染防止対策を徹底したうえで再開しています。また、令和2年3月から6月までの中止期間の1歳6か月児歯科健診の対象児は市内の委託医療機関で令和2年8月1日から令和3年3月31日までは歯科健診が受けられる救済措置を実施しました。

<健康づくり課>

- ・成人歯科健診は4～6月まで中止し、7月から再開しました。

- ・免疫力向上ため「コロナに負けるな！食事と歯みがきで免疫力アップ講座」を開催したほか、健康情報メールやホームページで、歯科疾患予防やマスク着用による口腔の筋力低下を防ぐ口の体操について周知しました。
- ・感染を恐れて「受診控え」が増加したことを受けて、広報やちよ 12 月 15 日号で歯科受診の重要性を伝えました。

2. 定期的な予防管理の推進

妊婦・幼児・成人・在宅訪問歯科健康診査を実施し、受診を促すとともに、かかりつけ歯科医づくりや定期受診の重要性を伝えました。（歯科健康診査実施実績は、前項の表 1 の種類①を参照。）

3. 歯と口腔の健康づくりのための仕組みづくり

関係機関・団体等との連携・協力体制を整え、歯と口腔の健康づくりのための仕組みづくりを行うために、「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議」を平成 25 年度に設置しました。

例年、ライフステージ毎の課題に対応するため「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議全体会」の他、年代に分けた「部会」を開催していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために各部会の開催は見合せ、全体会 1 回のみ実施しました。（表 2）

全体会では、コロナ禍での「受診控え」によるむし歯や歯周病の増加の懸念があることから、歯科診療所における感染症対策について情報を共有したほか、様々な感染症対策として口腔内を清潔に保ち、必要に応じて歯科治療を受けることが大切であることを確認しました。（表 2）

歯科診療は安全なのか～感染リスク～

「スタンダードプリコーション(標準予防策)」



+

ゴーグルやフェイスガード、ガウン

+

歯科医師自身の健康管理の徹底

→歯科医師から患者さんに感染するリスクは低い

歯科医師講話

「コロナ禍における歯科保健の重要性」
のスライドより抜粋

表 2 八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議の開催状況

種類	開催日	内容
全体会	令和 2 年 11 月 19 日	所属や委員自身における歯科保健の取り組み報告、歯科医師講話